

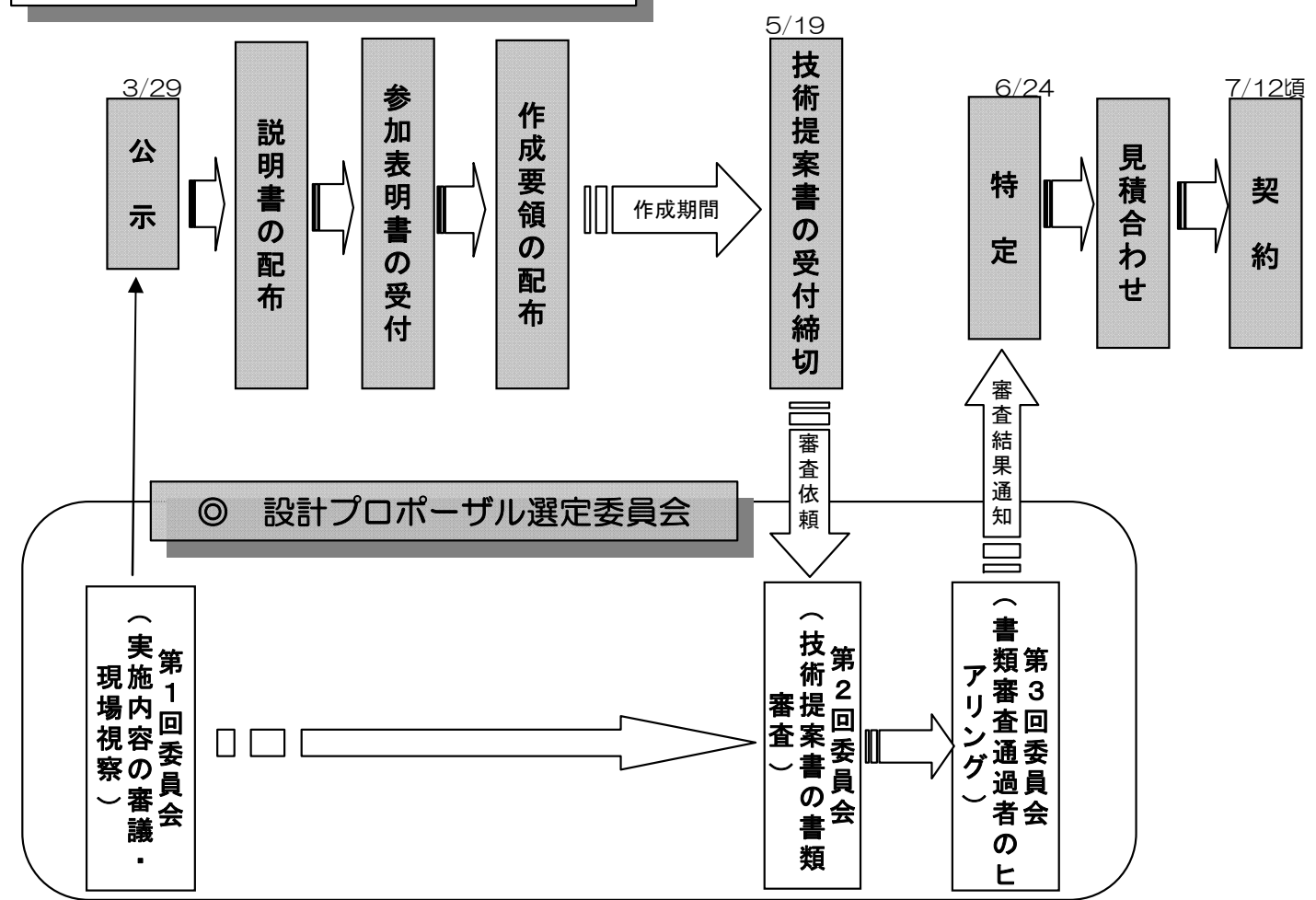
◆ 設計者について

1 設計者選定の経緯

①プロポーザル方式とは

設計対象に対する発想，解決方法及びイラスト・イメージ図等の提案を求め，これを審査し，最も優れた設計を行いうる「設計者」を選定する方式
 設計者を選定した後に，具体的な設計が発注者との共同作業で行われる。

②設計委託契約までのスケジュール

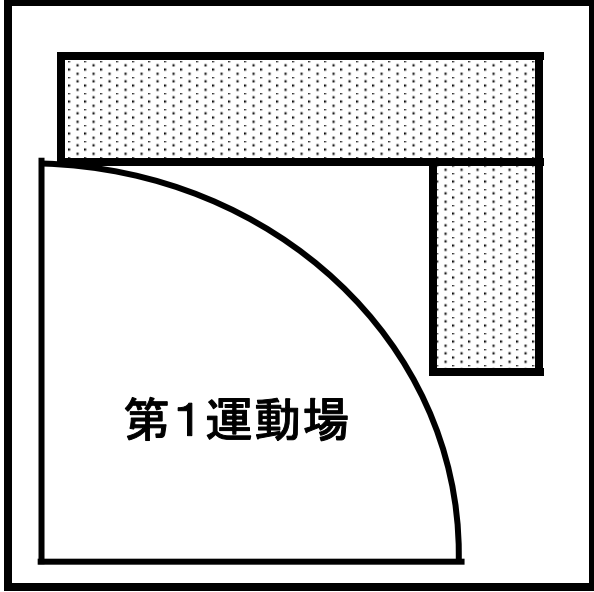
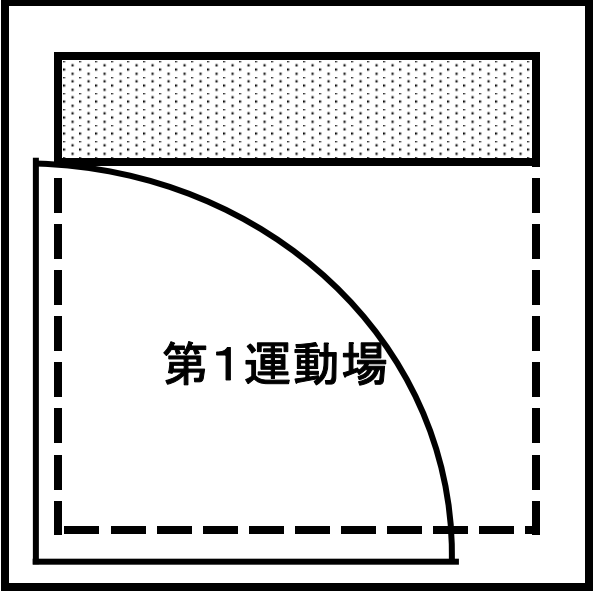
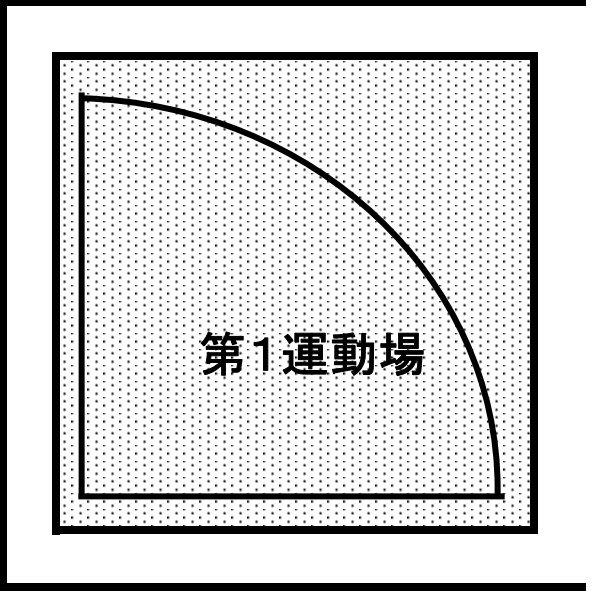
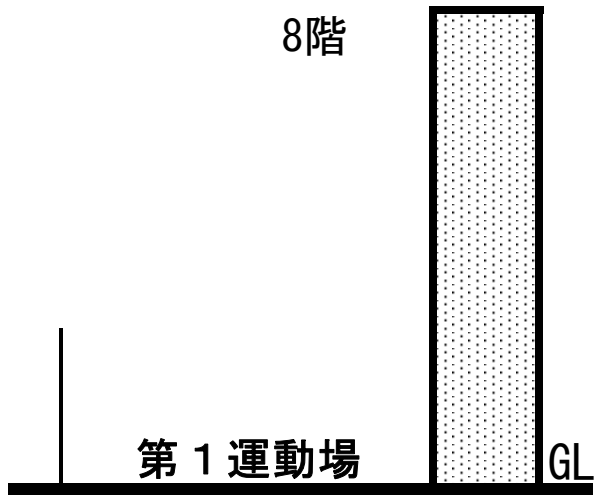
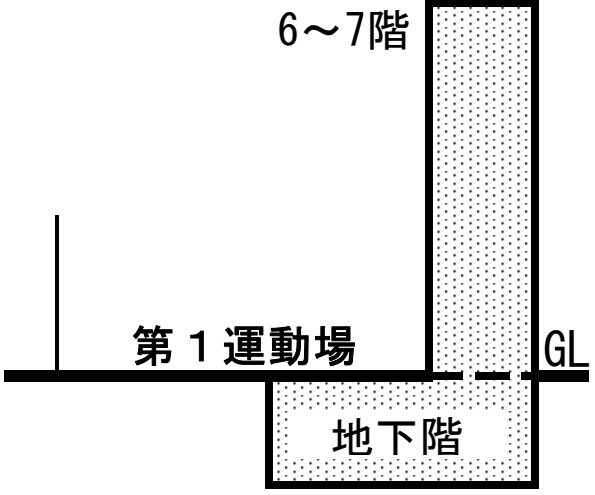
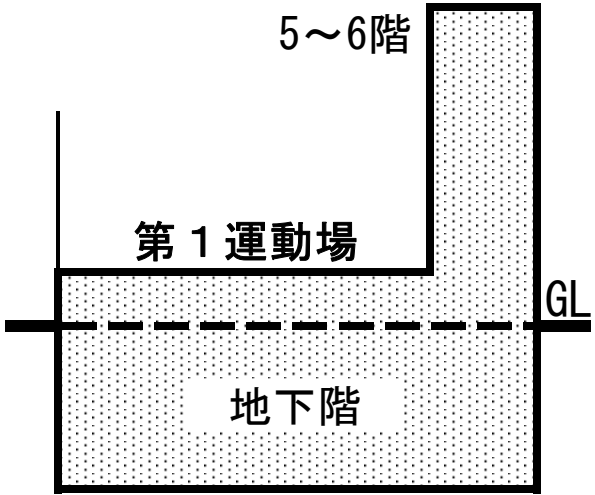
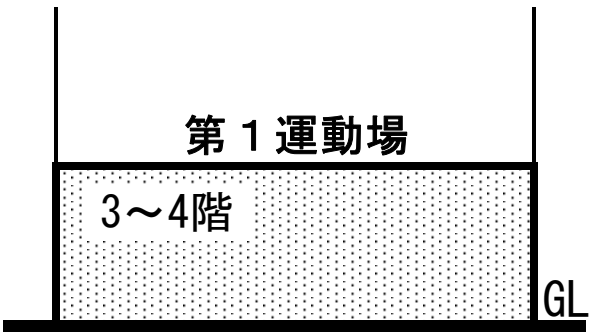


2 設計者の概要

日建・志賀・衛星都市設計共同企業体

- (代表構成員)； (株)日建設計 九州オフィス 常務執行役員九州代表 横谷 英之
- (構成員)； (株)志賀設計 代表取締役 八島秀孝
- (構成員)； (株)衛生都市計画 代表取締役 福澤 俊一

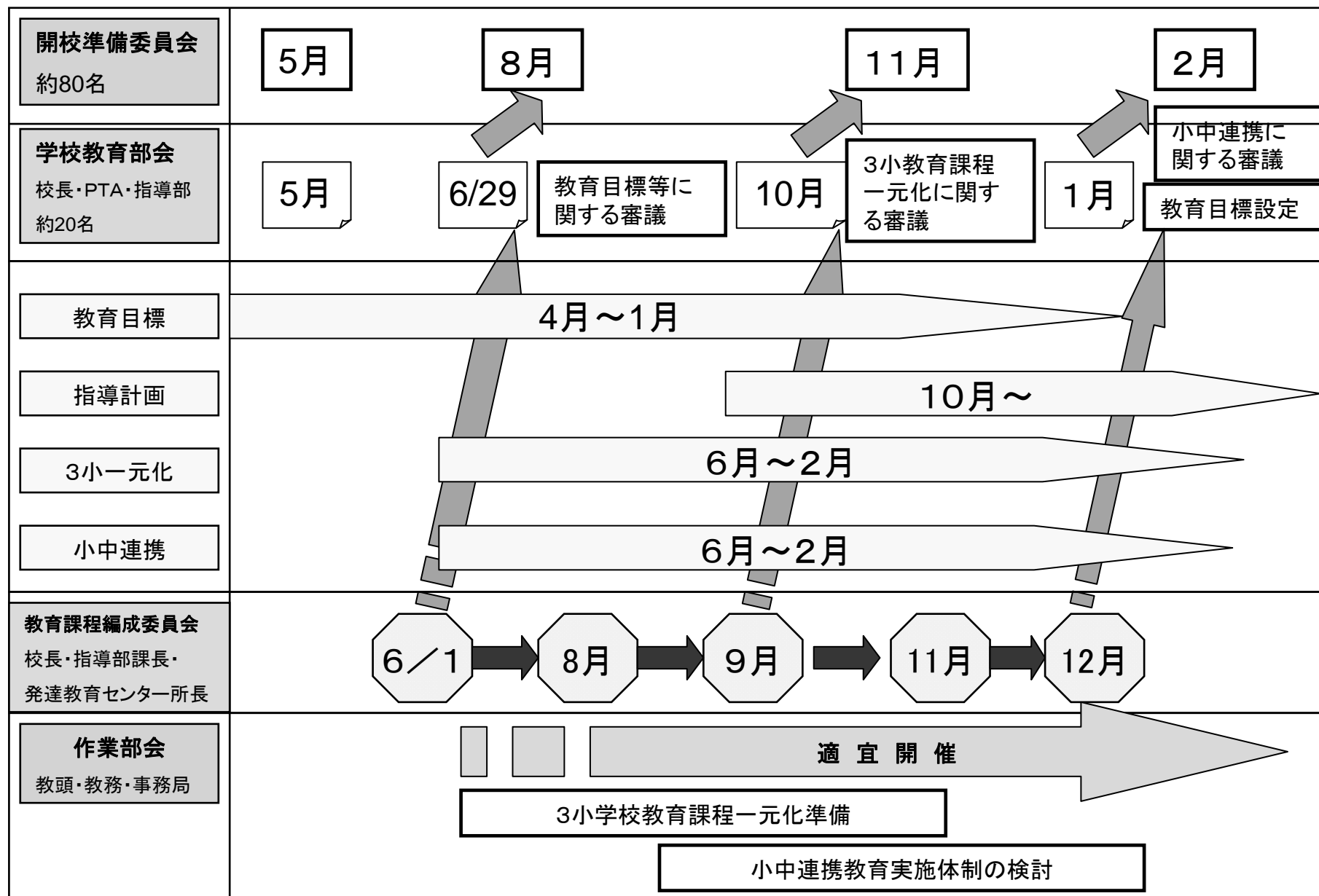
■舞鶴中ブロック小中連携校配置プラン（全14案の分類）

プラン	A（高層案）	B（中層案） ※地下活用案		C（低層案）
平面	<p>那の津通り</p>  <p>第1運動場</p>	<p>那の津通り</p>  <p>第1運動場</p>		<p>那の津通り</p>  <p>第1運動場</p>
断面	 <p>8階</p> <p>第1運動場</p> <p>GL</p>	 <p>6～7階</p> <p>第1運動場</p> <p>地下階</p> <p>GL</p>	 <p>5～6階</p> <p>第1運動場</p> <p>地下階</p> <p>GL</p>	 <p>第1運動場</p> <p>3～4階</p> <p>GL</p>
当初提案数	1	3	7	3
1次選考通過案数	0	0	2	3

舞鶴中ブロック統合校開校までのスケジュール（学校教育部会）

	22年度				23年度				24年度				25年度				26											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4			
	設計プロポーザル			基本設計, 実施設計, 計画通知等					入札手続き			新設校舎建設工事											開校準備	開校				
開校準備委員会	教育理念				学校名		校章		校歌													内覧会						
	部会付託	部会報告	部会報告	部会報告	部会報告	部会報告	部会報告	部会報告	部会報告	部会報告	部会報告	部会報告	部会報告	部会報告	部会報告	部会報告	部会報告	部会報告	部会報告	部会報告	部会報告	部会報告	部会報告					
学校教育部会	教育目標の設定																											
	教育指導計画の策定																											
												開校に向けた教員研修の計画, 実施																
												制服(夏服, 冬服)	体操服等の用品	クラブ, 部活動	時制, 校務分掌等													
	大名, 簀子, 舞鶴の教育課程統一			平成23年度より大名小, 簀子小, 舞鶴小の3校は教育課程を統一, 合同で実施できる授業は3校合同で実施する																								
小中連携教育→小中学校間の調整																												
交通安全部会	通学路点検, 交通量調査, 通学路選定作業				県警, 区役所等との協議				通学路整備(歩道, 信号, 横断歩道など), 通学路マップ作成等																			
	通学路検討(舞鶴小仮移転)		関係機関協議(舞鶴小仮移転)		平成23年度から舞鶴小の児童は大名小へ通学																							
施設部会	配置, ゾーン, 平面設備構造等																						備品の選定作業	備品の発注, 納品				
	施設開放の範囲セキュリティ等														施設開放委員会等の仕組み検討													
	舞鶴小の仮移転準備 仮設校舎, 校舎改造, 施設開放調整			平成23年度から舞鶴小は大名小学校へ仮移転, 舞鶴小の施設開放は大名小で一元化																								

平成22年度 舞鶴中ブロック統合にむけたスケジュール



福岡市が目指す子ども像 ～基本的な生活習慣を身につけ、自ら学ぶ意欲と志を持ち、心豊かにたくましく生きる子ども～

- 確かな学力、豊かな心、健やかな体などの生きる力を身につけ、社会の一員としての自覚を持って行動できる子ども
- 郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統、文化を愛し、守り伝える子ども
- アジア、世界の中心の福岡という視点をもって様々な価値観を認め合い、他者や社会、自然や環境とともに生きることのできる子ども

福岡市の教育についての、5つの基本的考え方、16の重点施策

- 基本的考え方1 たくましく生きる子どもの育成**
- ① 確かな学力の向上(9)
 - ② 豊かな心の育成(11)
 - ③ 健やかな体の育成(7)
 - ④ 福岡の特性を生かした教育の推進(10)
 - ⑤ 市立高等学校の活性化(4)
 - ⑥ 人権教育の推進(6)
 - ⑦ 不登校の子どもへの支援、いじめの未然防止の充実(10)
 - ⑧ 特別支援教育の推進(7)

- 基本的考え方2 信頼される学校づくりの推進**
- ⑨ 学校の組織力の強化(5)
 - ⑩ 学校と家庭、地域の連携の強化(5)

- 基本的考え方3 信頼に應え得る教員の養成**
- ⑪ 資質ある優秀な人材の確保(3)
 - ⑫ 教職員の資質、能力の向上、活性化(12)

- 基本的考え方4 社会全体での子どもたちの育成**
- ⑬ 子どもたちの安全確保に向けた取り組みの推進(6)
 - ⑭ 家庭、地域における教育の支援(8)

- 基本的考え方5 教育環境づくりの推進**
- ⑮ 安心して学ぶことができる教育環境の整備(5)
 - ⑯ 教員が子どもと向き合う環境づくり(7)

公教育の福岡モデル

重視する教育内容

- I 福岡スタンダード（すべての子ども達に身につけさせたい実践的態度）**
- (1)挨拶→人とのかかわり
 - (2)掃除→社会や環境とのかかわり
 - (3)自学→自分とのかかわり
 - (4)立志→将来とのかかわり
- 確かな学力、豊かな心、健やかな体…
基本的な生活習慣が基盤となる

- II ことばを大切にしている教育（ことばはコミュニケーションの手段として最も重要）**
- (1) 日本語を正確に理解し表現する「国語の能力」
 - (2) 自分の思いを他者に伝える、他者との人間関係をつくる「コミュニケーション能力」

- III 子どもの力を引き出し発揮させる教育（やる気、意欲、伸びようとする態度を支援）**
- (1) 楽しい、わかる、魅力ある授業づくり、活動づくり→わかった！、できた！が実感できる授業
 - (2) 感動、達成感、満足感を味わう遠足、自然体験、社会体験→心身の発達、個性の伸長
 - (3) 学級活動、児童会活動、生徒会活動の活性化→自治的能力の伸長
 - (4) クラブ活動、部活動の活性化→スポーツ、文化、科学等に親しむ
 - (5) 個々の教育的ニーズに応じた適切な指導、支援 特別支援教育推進プラン

新設校は福岡市の教育計画を実践し、施設一体型の強みを生かして小中連携教育に特化する

重視する教育方法

- IV 小中連携教育←施設一体型小中連携教育を導入、学校の教育力を強化**
- (1) 9年間を見通した学習指導 読み、書き、計算の徹底、9年間の連続性ある指導と積み上げ
【前期】学級担任制(4年)～【接続期】学級担任制→教科担任制(3年)～【後期】教科担任制(2年)
発達段階に応じて、9年間で思考力、判断力、表現力を段階的に育成
 - (2) 心の教育の充実、適応指導の充実
子どもと子ども、子どもと教員の豊かな人間関係の中で、自分を大切に、他の人を大切にする心を育成
小学校段階から個に応じた学校適応指導などの予防的な取り組みにより不登校を防止
 - (3) 体力の向上（規則正しい食生活、早寝早起き～体力向上推進計画）
運動をするための体力づくり、健康に生活するための体力づくり、発達段階に応じた食に関する指導
 - (4) キャリア教育の充実
将来に目標を持ち、進路を切り拓く子どもの育成
1/2成人式、職場訪問・体験、立志式、卒業証書授与式・・・など節目を重視
 - (5) 特別支援学校との連携
小中学校等と特別支援学校の交流及び共同学習の充実、居住地校での行事や学習交流：副籍制度の推進

- V 家庭、地域、企業等と連携した教育活動「共育」 ～ 社会全体で子ども育てる**
- (1) 福岡スタンダードの推進
 - (2) 地域や児童生徒の実態を踏まえた教育活動を創り出す
 - (3) 地域全体で学校教育を支援する事業を推進する（学習支援、活動支援）

舞鶴中学校ブロック統合校について（案）

1 「舞鶴中ブロック小中連携校整備の基本的な考え方」（平成22年4月）

- 学校再編の背景
 - ・ 少子化の進行、児童生徒数の減少、小規模校の増加
- 舞鶴中ブロックの課題
 - ・ 小中学校の小規模化、私立学校への転出傾向、校舎の老朽化、舞鶴中の移転の必要
- 統合にあたっての保護者・地域との合意事項
 - ・ 子育て世帯の都心居住を誘導する魅力ある学校づくり
 - 教育内容が充実した公教育の実現、施設の充実による地域の利便性向上
- 小中連携教育を中心に据えた教育内容の充実
 - ・ 福岡市の教育方針と統合校における教育内容の充実
 - ・ 義務教育9年間を通じた指導、積み上げ、家庭学習の支援

2 「舞鶴中ブロック統合校 学校づくりの基本的な考え方」

(1) 学校づくりの3つの柱

- ★ **福岡の教育をリードし、子どもが確かに育つ学校をつくります**
 - 施設一体型小中連携教育で、9年間の積み上げを確実にを行う学校づくり

- ★ **個に応じた指導を行い、一人一人を大切にする学校をつくります**
 - 一人一人のニーズに応じた多様な教育を実践する学校づくり

- ★ **福岡の発展を支えてきた地域の宝となる学校をつくります**
 - 歴史と伝統に夢と誇りをもち、アジア・世界に開かれた国際都市福岡の中心的存在となる学校づくり

(2) めざす子ども像

- 自ら学ぶ楽しさ・友達と学ぶよさを実感し、基礎・基本を徹底的に学び、何事にも自分の考えをもって、積極的に取り組んでいこうとする子ども（知）
- 自他のよさやがんばりを認め合い、他者との良好な人間関係を築き、一緒に力を合わせて育っていこうとする心豊かな子ども（徳）
- 心身の健康に対する関心を持ち、自ら心身を鍛え、体力向上に励む子ども（体）
- 郷土の歴史や伝統文化に対する愛情や誇りをもち、積極的に守り育てようとするとともに、自分の学びを他者に発信しようとする子ども